

モッコク科 サカキ属

# サカキ (榊)

*Cleyera japonica* Thunb.

## 自生環境

植栽 (神社など)

## 原産地

日本在来

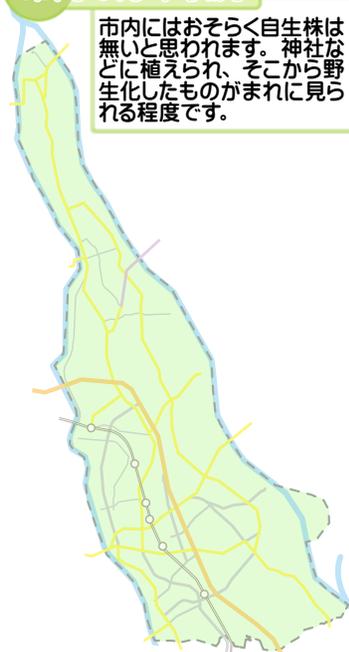
## 生育を脅かす要因

{今のところ特になし}

在来種ですが、市内では確実な野生株は見られず、たまに神社に植えられることがある程度です。植栽されたものですので、生態系の観点からの保護は特に必要ありません。

## 市内の分布状況

市内にはおそらく自生株は無いと思われます。神社などに植えられ、そこから野生化したものがまれに見られる程度です。



## 特徴

- ☆ 関東地方以西の比較的暖かい地域に分布し、山地に生える常緑高木です。樹高は 10m ほどになります。神事に用いられるため、神社に広く植えられるほか、刈り込んで樹形を整えることができるため、生垣用の樹種としても用いられます。
- ☆ 葉の表面はクチクラ層が発達してかたくて丈夫で、強い光沢があります。このような特徴を持った葉をつける木を照葉樹と言います。よく似たヒサカキは葉の縁がギザギザしますが、サカキの葉は縁にギザギザはありません。
- ☆ 6~7月に直径 1.5cm ほどの白い花を咲かせます。花は時間が経過するとややくすんだクリーム色へと変化します。果実は球形で、秋の終わりに黒く熟します。

## 神事に用いられる

「榊」は日本で作られた漢字で、木へんに神と書きます。その漢字のとおり、古くから神棚に供えるなどの神事に使われ、神聖な木として大切にされてきました。神社によく植えられているのはそのためです。ただ、サカキは比較的暖かい地域に自生する樹種で、その分布は西日本が中心となっています。関東地方以北では、サカキの代わりに、ヒサカキを用いるところもあります。



花びらは白色だが、時間が経つと黄色っぽくなる



11~12月に球形の果実が黒く熟す



葉の縁はギザギザしない

葉は硬く、強い光沢がある



新芽は鎌のようにくると曲がる



わびちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

